

単元名 (書写)楷書で書こう

配当時間 4時間

単元の目標 (1) 楷書の基本点画の筆使いを理解し、正しい筆順で字形を整えて書くことができる。
 (3) 小学校で学習した楷書について、基本点画の筆使いや筆順、字形に関心をもち、正しく整えて書こうとする。

標準的な展開例

10210120_001

【教材名】「天地」「成功」 (P. 14～P. 23)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 楷書の基本点画の筆使いを理解して書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校での楷書の筆使いを確認する。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 <p>★楷書の点画の筆使いを理解しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己の課題に合わせて練習する。 ○ 「天地」を半紙に毛筆で練習する。 ○ 隣同士で鑑賞し合う。 <p>2 楷書の基本点画の筆使いと字形を理解して書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書(p. 18), 硬筆の「試し書き」と「考えよう」を使い、基本点画の筆使いと自己の課題を確認する。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 <p>★筆使いと字形を理解して書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「天地」を毛筆で清書する。 ○ 類型文字を楷書で書く。 ○ 教科書(p. 18)を使い、硬筆でまとめ書きをし、振り返りを行う。 <p>3 楷書の基本点画の筆使いや点画のつながり、筆順を理解して書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本点画の筆使いや点画のつながり、筆順を意識して書くことを確認する。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 <p>★字形を整えるために、点画のつながりや筆順を意識して書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本点画の筆使いや点画のつながり、筆順に気を付けて「成功」を書く。 ○ 基準に沿って批正し合う。 ○ 「成功」をまとめ書きをする。 ○ 振り返りを行う。 <p>4 字形の整え方と筆順の原則を理解して書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本点画と、字形を整えて書くことについて振り返る。 ○ 本字の学習課題をつかむ。 <p>★点画の整え方と筆順のきまりを理解して書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 字形に関わる漢字を硬筆で試し書きをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書(p. 14～p. 15)を参照し、筆に墨をつけずに机上で空書きさせる。拡大印刷したものをなぞらせてもよい。 ・ 横画、縦画、右払い、左払い、曲がり、右上払い、そり、折れ、点などの基本点画の書き方を確かめる。 ・ 教科書(p. 14～p. 15)を参照する。拡大印刷したものを半紙の下に敷いたり、なぞらせたりして、繰り返し練習させるとよい。 ・ 立てたまま筆を運ぶことを意識させる。 ・ 姿勢についても、気を付けさせる。 <p>【評】 気を付ける筆使いを理解し、正しく書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 互いの作品のよい点を認めさせたい。 ・ 中学校初めての毛筆の時間となるので、道具の片付け方等確認する。 ・ 振り返りとして、鑑賞で指摘された点や気付いた内容を、教科書(p. 16～p. 17)に記入させる。 ・ 筆洗いにペットボトルを使う方法もある。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本点画の名称を復習させる。 ・ 前時に使用した、教科書(p. 14～p. 15)を拡大印刷したものを再度配布して、練習させてもよい。 ・ 字形については、中心線や補助線を意識させる。 ・ 基本点画と字形を意識して書く。 <p>【評】 基本点画の筆使いと字形を理解して書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 字形を整えて書くことを、硬筆でも同じようにして書けることを伝える。 ・ 「生かそう1」(p. 18)を使い、硬筆練習もできるとよい。 ・ 教科書(p. 19)を参照する。 ・ 「成功」を構成している基本点画の名称を確かめさせる。 ・ 「天地」にはない筆使いである「そり」や筆順に気を付けながら書かせる。 ・ 筆順と接し方を確かめさせる。 ・ 批正し合った後、練習を続けさせる。 ・ 最後に丁寧に書かせる。 <p>【評】 筆使いや点画のつながり、筆順を理解して書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書(p. 19)の振り返りに記入させる。 ・ 前時の「天地」「成功」について、字形を中心に、自分のまとめ書きをもとに振り返るようにさせる。 ・ 字形の整え方と筆順のきまりを理解する学習であることを知らせる。 ・ 単体の漢字や、組み立てのある漢字を書くよ

<ul style="list-style-type: none"> ○外形から考えられる組み立て方に漢字を分類する。 ○字形を整え、筆順のきまりに従って書く。 ○字形を整えるためにも、筆順のきまりに従って書くことを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・う促す。 ・組み立て方ごとに漢字を分類させる。 ・左右の組み立て方は「供」「体」「行」などで、上下の組み立て方は「宇」「盆」「星」などである。 ・筆順のきまりを意識して書くことができるようにする。 ・外形を意識して漢字を整えて練習できるようにする。 ・字形、筆順を正しく書くことができるようにする。 <p>【評】字形の整え方と筆順の原則を正しく理解して書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>
--	--

【 備 考 】
 ここでは、基本となる点画といった小学校の学習を確認し、楷書の学習に取り組む。中学校の楷書の学習では、①筆使い②字形③筆順を理解するとともに、活字との違いや許容範囲を知り、それらの学習を生かして書くようにさせる。また、楷書の学習を言葉や文として扱い、紙面全体が調和するように、行の中心と文字の中心をそろえたり、文字の大きさにも留意したりして、身の回りの文字に生かしていけるようにする。
 筆、墨、硯、紙について知ろう 教科書 (p. 22～p. 23) (適時)
 補助教材集 楷書「出発」「実現」教科書 (p. 141)